

畜産 FAX 情報 第 2 号

令和 6 年 6 月 1 日

発行：ゆとりみらい 2 1 農業推進協議会指導部会

1 サイレージ用とうもろこしについて

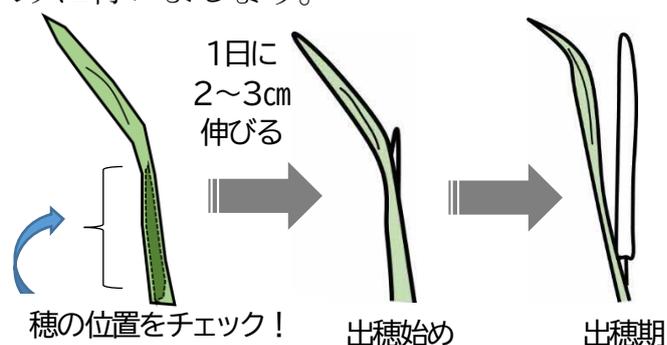
サイレージ用とうもろこしの生育は順調に進んでいます。茎葉処理除草剤はサイレージ用とうもろこしの葉数と雑草の出方を見て、タイミングを逃さずに散布します。茎葉処理除草剤は使用法をよく確認願います。

2 牧草の収穫作業について

牧草の生育は例年よりも早く進んでおり、オーチャードはすでに出穂始め～出穂期になっています。ほ場の状態確認を行うと共に、敷地内の搬送通路の整備や資材の数量確認を行うなど、収穫準備を念入りに行いましょう。

(1) ほ場の確認ポイント

穂の伸長は 1 日あたり 2～3 cm です。穂の位置を確認することで出穂時期を予測することができます。



(2) 収穫適期

- ・チモシー主体の草地は出穂始め～出穂期が収穫適期です。栄養価を確保する場合は出穂始めごろに、収量を優先する場合は出穂期ごろに収穫します。
- ・リードカナリーグラスの割合が高いほ場は、出穂前（草丈 80cm 程度）に収穫すると嗜好性が維持できます。
- ・新播草地で倒伏が増えています。圃場の状態を確認し、倒伏が多ければ優先的に収穫します。ほ場を痛めないよう、車両の走行には十分注意願います。

(3) 牧草地を維持するポイント

来年の一番草収量を増やすためには、この時期の管理が重要です。

- ・一番草の刈り取り高を 10cm 程度に調整し、成長点を残す
- ・一番草収穫後の肥料散布は、10 日以内が目安
- ・一番草収穫後のスラリー散布は、新葉が出る前（5 日程度）に散布を終える
- ・エゾノギシギシの除草剤処理が必要な箇所を収穫時に確認しておく

お互い声を掛け合って農作業安全を心がけましょう！